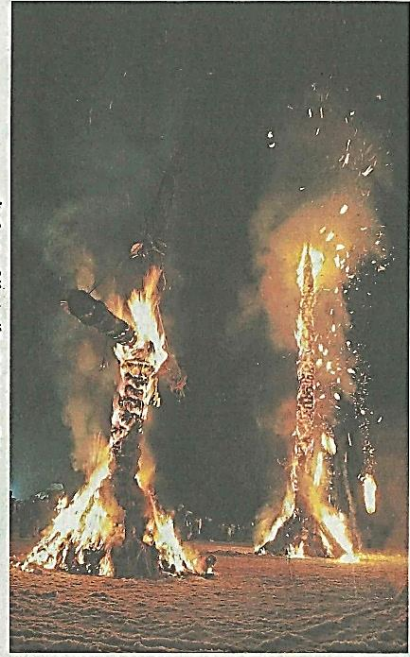


福島民報2023年(令和5年)2月19日(日)掲載

「サイノカミ」再現

3年ぶり雪と火のまつり 三島

第50回の節目となる「つり」は18日、町民連三島の「雪と火のまつり」動場で3年ぶりに催された。



勢いよく燃え上がるサイノカミ

町の実行委員会が主催。町の伝統行事で国指定重要無形民俗文化財「サイノカミ」が再現された。

高さ約20メートルの御神木を使った川井地区のサイノカミなど計3体が立てられ、目が落ちてから点火された。来場者は無病息災などを願いながらゆくりと燃え上がる炎を見詰めた。花火が同時に打ち上がり、夜空を彩った。

団子さしや雪上障害物レース、ステージイベントなども催され、家族連れらが冬の一日を楽しんだ。

福島民報2023年(令和5年)

2月20日(月)掲載

三島でまつり

雪と火共演 熱気最高潮

三島の町民運動場で18日に催された3年ぶりの「雪と火のまつり」では伝統文化にまつわるイベントなど多彩な企画が繰り広げられ、来場者が充実した時間を過ごした。

鳥追いの歌披露

国指定重要無形民俗文化財「サイノカミ」の再現では、滝谷地区の十字型のサイノカミ、三島中生が手がけたサイノカミなど計3体が火がともされた。花火も打ち上がり、来場者から歓声が上がった。

サイノカミの前に、

子どもたちが鳥追い行列に臨み、昔から伝わる鳥追いの歌を披露した。団子さしや雪上障害物レース、演歌歌手の津吹みゆさん、ぺんぎんナッツによるステージイベントも繰り広げられた。

会場には地鶏の焼き鳥や手打ちそばなどの模擬店が並び、来場者が会津の美味を堪能していた。



燃え上がる3体のサイノカミ

18万5千円を
実行委に寄付
明治安田生命

明治安田生命は雪と火のまつりのステージで、実行委員会に18万5千円を寄付した。同社の「地元の元氣プロジェクト」の一環。同社の根岸秋男会長が矢沢源成町長、小平和広町観光協会長に目録を手渡した。

鳥追いの歌を披露する子どもたち



福島民友2023年（令和5年）

2月20日（月）掲載

パン食い競争などを楽しんだ雪遊びイベント

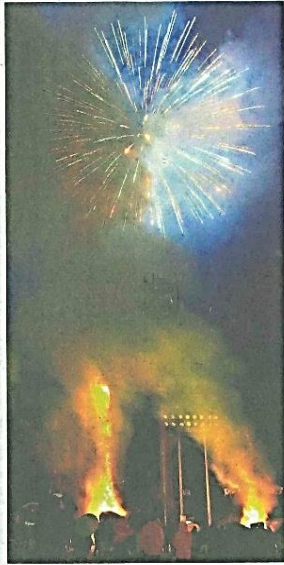


三島・雪と火のまつり

冬の空を彩るサイノカミの花火

第50回雪と火のまつりは18日、三島町民運動場で開かれた。国の重要無形民俗文化財に指定されている同町の伝統行事「三島のサイノカミ」が再現された。

火柱と花火 冬空彩る



持ち歌やテレサ・テンさんの名曲などを披露した津吹みゆさん

害鳥を追いつぶる鳥追い行列に続き、わらを巻き付けた巨大なご神木を燃やし、家内安全や無病息災、五穀豊穡などを願った。サイノカミ

明治安田生命保険
助成金18万円贈る

明治安田生命保険は18日、三島町民運動場で開かれた雪と火のまつりへの助成金として同まつり実行委員会に18万5千円を贈った。根岸秋男会長が来場した。

町と健康増進に関する連携協定を結ぶ同社は、同まつりにボランティア協力した。

ノカミに合わせて「福福祈願大花火大会」も繰り広げられ、火柱と大輪の花火が

冬空を彩った。

お笑いコンビ「ペンギンナッツ」が総合司会を務め、まつりを盛り上げた。矢吹町出身の演歌歌手津吹みゆさんのステージや雪遊びイベントなども行われた。

矢吹町長（右）に目録を手渡す根岸会長



た。従業員が来場者を出迎え、新型コロナウイルス感染症予防のための手指消毒などを促した。

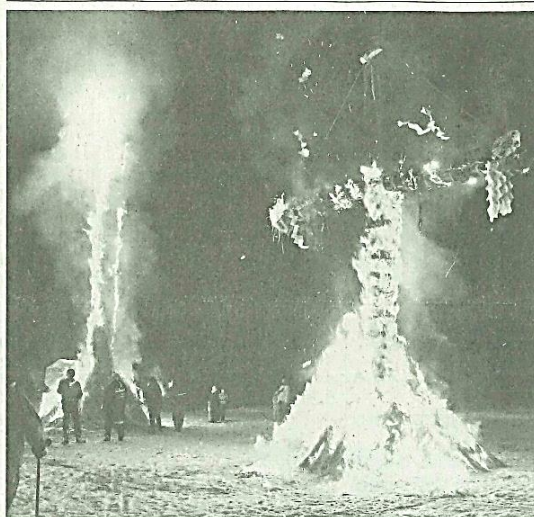
読売新聞2023年（令和5年）

2月19日（日）掲載

ご神木炎が包む

三島で伝統のまつり

三島町で18日、冬の伝統行事を披露するイベント「雪と火のまつり」が3年ぶりに開催された。ご神木に稲わらなどを巻き付けて燃やす小正月の伝統行事「三島のサイノカミ」（国の重要無形民俗文化財）やミズノキに米粉の団子を刺す「団子さし」など、町の伝統行事が再現され、多くの観客の目を楽しませた。イベントは新型コロナウイルス



再現された「三島のサイノカミ」（18日、三島町で）

イルスの影響で2020年を最後に開催できていなかった。

サイノカミは無病息災や厄落としなどを祈願する行事で、燃やされるご神木は地区ごとに形が異なる。今回は、滝谷地区に伝わる十字形のもと、川井地区の棒状のサイノカミを再現。たいまつから火が移されると、火の迫力に歓声が上がった。町立三島中学校3年小松紗佳さん（15）は、「勢いよく燃えていて感動した」と話した。